

# 帯広東ロータリークラブ会報

S.Mori



ROTARY  
SERVING  
HUMANITY

2016-2017年度  
帯広東ロータリークラブ

会 長 高 田 進  
幹 事 石 川 博 機  
メディア委員長 上野 敏 郎

「活：かつ」

## 第1537回例会

平成28年10月4日(火) 於 ホテル日航ノースランド帯広

■創 立：1984年6月15日 ■認 証：1984年6月18日 ■例 会：毎週火曜日 12:30~13:30  
■事務局：帯広市西3条南9丁目 帯広経済センタービル4F Tel.0155-25-7347 ■会 場：ホテル日航ノースランド帯広

2016-2017年度 国際ロータリーテーマ  
**【人類に奉仕するロータリー】**  
2016-2017年度国際ロータリー会長  
ジョーンF・ジャーム

ガバナーテーマ  
**【ロータリーの明日の為に、積極的に行動しよう】**  
国際ロータリー第2500地区 ガバナー  
駒形 曙 美

月間テーマ  
**【経済と地域社会の発展月間】**  
**【米 山 月 間】**

- ◎起 立 加藤雄樹 SAA
- ◎友情の握手 加藤雄樹 SAA
- ◎点 鐘 高田 進 会 長
- ◎開 会 宣 言 加藤雄樹 SAA
- ◎国 歌 斉 唱 加藤雄樹 SAA
- ◎ロータリーソング 「それでこそロータリー」
- ◎ゲスト紹介 高田 進 会 長  
帯広信用金庫 地域経済振興部 副部長 佐藤 憲 様
- ◎ビジター紹介 鎌田 勉 副会長

### 10月結婚記念日を迎える会員 古川直也 親睦活動委員長

金尾浩幸 会員 昭和41年10月16日  
上野敏郎 会員 昭和46年10月10日  
古川直也 会員 昭和52年10月15日

◎乾 杯 齊藤蓮輝 会 員  
◎会 食

### 会長挨拶 高田 進 会長



皆さんこんにちは。長い間、例会を欠席し、会員皆さまに、大変ご迷惑をおかけしました。又、理事会や家族野遊会等、出席できず副会長、幹事初め理事、役員の方々には大変お世話になりました。

病名は慢性腎臓炎ですが、何年か前から、いずれこうなることは、医師から告げられて居りましたが、透析治療に伴う為、少しでも遅くなるよう、努力してきたつもりでした。この病気は、自力での治癒は今の医学では、不可能のようで、透析か移植かということになります。腎臓の働きは、体の中の

必要なものと、余分なものを分け、排出します。誰でも、30歳過ぎ位から、腎臓の働きが年齢と共に、落ちていくそうです。70~80歳で透析になる人が多いようですが、30年以上の人も多く、全国には30万人以上の患者がいます。私も何とか、70歳、あと1、2年とと思っていましたが、こればかりは、計算どおりにはいきませんでした。

私は今まで、ほとんど入院したことがなく、入院とは、こんなに日常の環境が変化するとは、思いませんでした。朝、5時半位から、院内の活動が始まり、食事が8時半、12時、18時に決まっており、21時に消灯です。一日1400キロカロリーで塩分、たんぱく質の制限食です。当たり前ですが、アルコールも抜きで一月近く飲まないのは、記憶にありません。環境の変化は、普段とは違う事を考えるもので、とりあえず自由は、制限されますがゆっくりと時間が流れる中、現状の自分、過去の事、今後の事を思ったりします。そこからは、入院前の日常とは違う、考えや思いが派生していきます。

良い事もありました。体重が減り、感覚が少しすっきりし、気分的にも良くなったような感じがし、頭痛や耳鳴りが収まり、何より新聞が眼鏡なしで読めるようになりました。病気治療との因果関係は分かりませんが、不要なものが徐々に体から抜けたのかもしれない。もしかしたら単にアルコールが抜けただけかも。

最後になりましたが、本日は帯広信金の佐藤様をお招きしての卓話です。宜しくお願い致します。

### 台湾のダム建築に貢献した日本人技術者 福岡正雄 会員

本日は私の書かせていただいたものをお配りしました。八田與一さんが台湾の台南地方で行ったダム事業と外代樹夫人についてです。ロータリアンとして、八田さんと外代樹夫人の人生を学びたいとまとめてみました。皆さんご覧になってみてください。



台湾で八田与一の造った烏山頭ダム



我々一行記念館の前で撮影



八田さんの銅像の前に慰霊祭を移す

## ニコニコ献金

親睦活動委員会 深澤佳世子 委員

- **高田会長** 久しぶりの例会です。何とか退院しました。大変ご迷惑をおかけしました。
- **石川幹事** 高田年度も早や3ヵ月過ぎました。
- **上野会員** おかげ様で会報の発行が順調に進んでいます。ありがとうございます。
- **加藤(雄)会員** 剣山(清水町)に登って来ました。頂上直下のはしご下が台風で崩れていてスリル満点でした。
- **高橋会員** 今日のプログラムは会員増強・ロータリー情報委員会担当です。宜しくお願い致します。
- **古川会員** 結婚記念日のお祝いを頂き有難うございました。

## 委員会報告

### ▶ 米山記念奨学委員会

深澤佳世子 委員長

今月10月は米山月間です。まもなくご寄付の封書が届くと思います。どうぞよろしく願いいたします。



## 出席報告

出席・プログラム委員会 宮前 克則 委員長

回数	日付	会員数	計算に用いる 会員数	ホームクラブ 出席者	メイクアップ	欠席数	出席率
1533	09/06	39	32	21	2		71.9
1534	09/13	39	34	22	4		76.5
1535	09/20	39	32	25	1		81.0
1536	09/27	39	35	26	0		74.3
	9月計	156	133	94	7		75.9

## プログラム

会員増強・ロータリー情報委員会 高橋克弘 委員長

### 【ゲスト卓話】

### テーマ：【十勝航空宇宙産業基地構想について】

帯広信用金庫 地域経済振興部 副部長 佐藤 憲 様

ロケットを飛ばすには、整備場や管制塔など付随の施設が必要となります。大樹町の多目的航空公園には、すでに気球の整備場、管制塔があります。これらのほかに関連する施設がたくさんできます。そこで働く人が必要となり、雇用の増加にもなります。



ではなぜ大樹町なのか。真南と真東を太平洋に面しており、ロケットの打ち上げに支障がないこと。赤道を自転と同じ軌道でまわる衛星と、北極と南極を結ぶ縦にまわる極軌道の衛星の両方が打ち上げられること。約35キロの海岸線の平坦な土地であり、年間を通して晴天率が高いのも特徴です。大樹や広尾、大津など漁業の漁期がはっきりとしているため、ロケットの打ち上げ日程を設定しやすく、地下に硬い岩盤が建設には向いています。そして十勝港やとちか帯広空港からも近いなど、大樹町は優れた立地条件が揃っています。

これまでも、JAXAや大学機関で研究・実験が行われ、昨今では民間のインターステラテクノロジズも実験を行っており、年内には大樹町から宇宙へ行くロケットがすぐそこまで来ています。

スペースポートの設備建設での経済効果は、周辺のインフラ整備にも波及し、ロケット打ち上げでの観光も数万人規模となります。

大樹町のスペースポート計画は、昭和59年に初期の構想が、昭和62年には北海道の長期総合計画戦略プロジェクトの一つにも上がりました。では何故今なのか。平成27年1月に新宇宙基本計画が策定され閣議決定され、ここがスタートと考えています。国の動きが活発化し、内閣府がシンクタンクへ調査の指示や有識者会合が開かれ、発射場の候補地の選定で国会議員が多数視察されています。その際、非公式となりますが、地元の受け皿をとの助言をいただき、国等の動きに対応ができていないことを痛感しました。

そこで、期成会をつくるため、「十勝圏航空宇宙産業基地構想研究会」を「とちか航空宇宙産業基地誘致期成会」へと発展・本格化させました。

これまでなかったさまざまな活動を開始し、特に大きいのは啓発・普及活動です。十勝・大樹町にこういった構想があることをまずは知ってもらう。今年3月までは北海道新幹線一色でしたが、最近は道からの支援も積極的となっています。もう一つは、さまざまな団体の連携を図るため、連絡会議を設置しました。そのほか平成28年4月に北海道の経済部産業振興局科学技術推進室に専門職員が配置されたり、大樹町でも航空宇宙推進室が設置されました。

本年度の活動として、道央圏へのPR、各種イベントへ参加となっています。今月ある国際航空宇宙展にも出展します。イベントでは集まった方から関心の高さが伝わってきます。11月に行われるビジネスEXPOでは、インターステラテクノロジズのロケットのほか、北大の永田教授と植松電機で共同開発しているカムイロケットと一緒に展示される滅多にない機会です。

今年作成したばかりのDVDで、北海道大樹町を知らない方にもわかるようにしました。第1発射場の4キロある直線滑走路では小型ロケットの打ち上げを計画。そのほか直線滑走路は使い勝手がよいため、これからの主流となるサブオービタル機にも向いています。第2発射場は、中型ロケットのHIIA、HII Bなどを打ち上げます。大樹町の発射場は、さまざまなタイプの打ち上げができるのが魅力です。

最後に、「構想から現実に」が活動の原動力となっており、夢のあるプロジェクトを皆さんと協力して行おうと活動しています。賛助会員の募集をしていますので、活動の支援をお願いいたします。

◎閉会宣言

加藤 雄樹 S A A

◎点 鐘

高田 進 会 長

## 次週プログラム

職業奉仕委員会

10月11日(火) 「会員卓話」 大塚正昭委員長